

令和5年度 第6回柿崎区地域協議会 次第

日時：令和5年9月19日（火） 午後6時～
場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協議事項

- (1) 令和5年度まちづくりフォーラムの開催について・・・・・・・・・・資料1

5 報告事項

- (1) 上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）に係る答申に対する通知について
・・・・・・・・資料2 資料3
- (2) （仮称）かきざき空き家利活用推進協議会 第3回設立準備委員会及び第32回柿崎
空き家活かそうプロジェクト会議の協議結果について・・・・・・・・資料4
- (3) 第3回明日へつなぐ事業検討委員会の協議結果について・・・・・・・・資料5

6 その他

- (1) 会議の開催日程について
- ① （仮称）かきざき空き家利活用推進協議会 第4回設立準備委員会
日 時：令和5年10月16日（月）午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305・306 会議室
- ② 第7回柿崎区地域協議会
日 時：令和5年10月17日（火）午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室
- ③ 第4回明日へつなぐ事業検討委員会
日 時：令和5年10月17日（火）地域協議会本会議終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 306 会議室

④ 第5回柿崎区地域協議会だより編集委員会

日 時：令和5年10月17日（火）地域協議会本会議終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305会議室

7 閉 会

令和5年度まちづくりフォーラムの開催について

1 協議事項

- ・開催の有無

※例年、地域づくりを考えるため地域協議会の活動報告、講演等を行っています。来年度、地域協議会委員の改選があることから、次期地域協議会委員公募の概要説明を合わせて行いたいと考えています。

- ・開催する場合：内容の検討や準備の進め方

2 令和4年度の開催状況（参考）

(1) 目的

- ・地域活動支援事業に取り組んだ団体の成果報告及び地域協議会の活動報告を行う。
- ・活気あるまちづくりのために自らができることを考える。

(2) 日時

- ・令和5年2月19日（日）午後1時30分～午後4時30分

(3) 会場

- ・柿崎コミュニティプラザ 4階 ホール

(4) 内容

- ①柿崎区地域協議会の活動報告
- ②地域活動支援事業の成果報告
- ③講演 講師：NPO 法人 越後妻有里山協働機構 事務局長 原 蜜 氏
演題：大地の芸術祭とFC越後妻有

(5) 内容検討及び準備方法

- ・実行委員会を設置し内容を検討

3 これまでの開催内容

開催日時	内 容
令和元年度 (令和2年2月24日)	・地域活動支援事業の成果報告、次年度の募集周知 ・講演：県立久比岐高等学校校長 早川勝志 氏： 演題：新潟県の教育と久比岐高校の未来 ・次期地域協議会委員の公募概要説明
令和2年度 (令和3年2月24日)	・柿崎区地域協議会の活動報告 ・地域活動支援事業の成果発表、次年度の募集周知
令和3年度 (令和4年2月20日)	・柿崎区地域協議会の活動報告 ・地域活動支援事業の成果発表、次年度の募集周知 ・講演：矢代古民家活用の会 代表 田中 功 氏 演題：地域活動と地域の未来

令和5年8月22日

(宛先) 上越市長

柿崎区地域協議会
会長 吉 井 一 寛

上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について（答申）

令和5年7月5日付け上地第17780号の5で諮問のあった、諮問第83号：上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、地域住民の生活に支障はないものと認めます。

上地第 24758 号の 5
令和 5 年 9 月 12 日

柿崎区地域協議会
会 長 吉 井 一 寛 様

上越市長 中 川 幹 太
(総合政策部 地域政策課)



上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について（通知）

令和 5 年 8 月 22 日付けで答申のあった諮問第 83 号上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

過疎地域持続的発展計画変更（案）について計画変更手続きを進めることとします。
今後、パブリックコメントを経て、令和 5 年上越市議会 12 月定例会に議案を提出する予定です。

柿崎空き家活かそうプロジェクト報告

日 時	令和5年8月31日(木) 18:00~19:30	出席者	吉井会長、蓑輪委員長、片桐充委員、小出委員、 中村委員
場 所	柿崎コミュニティプラザ 3階 305・306 会議室		
記録者	事務局	欠席者	片桐宏樹委員、中村誠委員
標 題	(仮称) かきざき空き家利活用推進協議会 第3回設立準備委員会の開催結果		
<p>(仮称)かきざき空き家利活用推進協議会設立に向けて、協議会の名称、会員の募集及び協賛のお願いの文書、設立趣意書の内容等を協議した。</p> <p>1 検討結果</p> <p>(1) 第3回設立準備委員会における課題の整理について</p> <p>① 協議会の名称及び通称について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の提案 <ul style="list-style-type: none"> ○名称：かきざき空き家利活用協議会 かきざき空き家活用協議会 ○通称：こねかね柿崎 きなされ柿崎 きないや柿崎 ・第4回設立準備委員会において決定する。 ・事務局確認事項：会則に名称だけでなく、通称の記載の必要性の有無 <p>② オブザーバーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の町内会長連絡協議会、柿崎商工会、NPO 法人柿崎まちづくり振興会及び柿崎観光協会の4団体に委嘱する。 ・事務局確認事項：会則にオブザーバーを委嘱する団体名等の記載の有無 <p>③ パソコンリース料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月額5,350円を予算計上する。 <p>④ 各団体からの補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎商工会：会員と協賛金の募集開始後、理事会へ補助金5万円を提案予定 ・柿崎まちづくり振興会：理事会を開催し、協賛金3万円を支出することに決定 ・柿崎観光協会：9月に理事会を開催し決定予定 <p>⑤ 協議会の経理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)古田組では引き受けられないとの報告があったことから、柿崎商工会が再度検討することとなった。 <p>⑥ 各団体の会員見込み数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の設立準備委員会で、柿崎建設業協会から12社入会していただけるとの報告があった。 ・柿崎建築組合の一人親方が会費3万円を負担することは難しいが、法人化されている事業者は協議会設立を前向きにとらえている人もいるので、会員になる組合員はいる。 ・柿崎建築組合の組合員が入会するとき、会費3万円の口にするのか、1万円の口にするのかは組合員に任せる。 			

⑦ その他

○区域をまたぐ取組の提案について

- ・柿崎区で地域独自の予算事業を提案し、例えば事業を大潟区や吉川区に広げてもよいのであれば、最初から範囲を広げておいた方が、事業がやりやすい。
- ・区域を広げる場合、会則第3条の「本会は、柿崎区内における空き家の利活用」を「柿崎区内及び周辺における空き家の利活用」と修正する必要がある。
- ・スタートは、柿崎区だけに限定してよい。1年目の様子を見て、他区から反応があるようだったら、実施区域を広げることを考える。
- ・次回は、事業の実施区域を決める。
- ・事務局確認事項：区域をまたぐ取組の提案の可否

○クラウドファンディングについて

- ・クラウドファンディングは設立準備委員会での実施が不可能なことから、実施するのであれば協議会が立ち上がってから行う。

(2) 会員募集、協賛金のお願いの文書及び趣意書について

- ・チラシは、町内会長及び柿崎商工会を通じて全戸配布する。11月27日開催の町内会長連絡協議会の総会において、吉井会長が空き家利活用推進協議会の経緯や概要を説明し、チラシの全戸配布を依頼する。
- ・会員及び協賛金の募集期限、チラシの配置場所等募集方法は、第4回設立準備委員会において協議、決定する。
- ・会員及び協賛金の募集開始時期について、事務局から予算要求の見通しが立つ来年1月からの実施の提案があったが、2月の設立総会に間に合わないことから、当初スケジュールのどおり11月から募集を始める。

(3) 地域独自の予算事業提案書について

- ・各団体の総合事務所への提出期限：9月20日

5 第4回設立準備委員会の主な検討事項

- ・名称及び通称
- ・事業の実施区域
- ・団体の補助金支出の可否
- ・柿崎商工会における経理の検討結果
- ・会員及び協賛金募集の実施方法

6 第4回立準備委員会の開催日程

- ・日時：10月16日（月）午後6時
- ・会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305・306 会議室

以 上

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日時	令和5年9月15日(金) 18:30~20:15	出席者	蓑輪委員長、小出委員、中村委員、吉井
場所	柿崎コミュニティプラザ 市民活動室		
記録者	吉井	欠席者	片桐(宏)委員、片桐(充)委員
標 題	第32回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議		
<p>■本日のテーマ</p> <p>「空き家利活用推進協議会設立に向けた検討」</p> <ol style="list-style-type: none"> 第3回設立準備委員会における課題の整理について 地域独自の予算事業提案書について 会員等の募集方法について <p>■協議結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 第3回設立準備委員会における課題の整理について <ol style="list-style-type: none"> 協議会の名称及び通称について <ol style="list-style-type: none"> 名称について <ul style="list-style-type: none"> 第3回設立準備委員会では、「かきざき空き家利活用協議会」と「かきざき空き家活用協議会」の提案があった。 プロジェクト会議から「かきざき空き家利活用協議会」を提案し、委員から意見を聞き、次回の設立準備委員会で決定する。 通称について <ul style="list-style-type: none"> 第3回設立準備委員会では、「こねかね柿崎」「きなされ柿崎」「きないや柿崎」のほか、「空き家をサポートする」「移住者をサポートする」という意味でサポートという言葉を入れたいという意見や、4文字が流行りやすいといった発言があった。 事業の実施区域について <ul style="list-style-type: none"> 第3回設立準備委員会では将来を見据えた場合、柿崎区だけでなく、頸北地域あるいは上越市全体となるが、スタートは柿崎区だけでよいという意見だった。 来年度は柿崎区を実施区域にして事業を進める。 各団体の補助金について <ul style="list-style-type: none"> 柿崎まちづくり振興会が協賛金の名目で支出することから、柿崎商工会及び柿崎観光協会とも協賛金に統一する。 協議会の経理について <ul style="list-style-type: none"> 株古田組から受けられないと報告があったので、商工会が経理事務を行う。 事務所については、株古田組事務所内に置くことで協議が進んでいるが、商工会も候補の一つとして考えている。 顧問の委嘱について <ul style="list-style-type: none"> 会則第14条を設け、顧問に関して次のように定める。 <ol style="list-style-type: none"> 本会に、顧問を置くことができる。 			

- ii 顧問は、会長が理事会の同意を得て委嘱するものとする。
- iii 顧問は、顧問が持つ知識、経験、人脈、スキル、ノウハウを生かし、実務的なアドバイスのほか、課題解決の実行支援を行う。
- ・ 次回の設立準備委員会に、吉井会長が提案し委員に諮る。

(6) 事務局の確認事項について

①会則に通称を記載する必要性の有無

- ・ 名称は記載必須事項だが、通称は必須事項でないので、必ずしも会則に記載しなくてもよい。

②会則にオブザーバーの団体名等を記載する必要性の有無

- ・ 会則の記載必須事項ではないので、記載しなくてもよい。

③区域をまたぐ取組の提案の是非

- ・ 地域自治区の区域をまたぐ取組も提案できる。その場合、最も関連の強いと考える地域自治区の総合事務所へ提案することとなる。

④収入が増えた場合の地域独自の予算事業補助金

- ・ 補助金は団体が事業を実施するにあたり、用意できない経費の一部を補助することから、収入が増え当初予定していた事業を実施する場合、補助金額は減額となる。

2 地域独自の予算事業提案書について

- ・ 内容等は事務局に一任する。

3 会員等の募集方法について

- ・ 募集開始は11月1日とし、いつでも入会ができるよう期限は入れない。
- ・ どのように周知していくかということが一番の課題である。町内会長の協力を得てチラシの全戸配布、商工会を通じて会員への配布のほか、地域協議会だよりや総合事務所だよりに掲載することも考えていく。
- ・ 一番効果がある周知方法は新聞を利用することだ。10月16日開催の第4回設立準備委員会を記事にしてもらおうか。こちらから情報提供することで早く周知できる。
- ・ 協賛金は、委員個々に知人、友人、所属する組織の方々をお願いする。

4 総会の日程について

- ・ 次回の設立準備委員会において、令和6年2月15日前後で総会の日程を決める。

5 今後の日程

- ・ 第4回協議会設立準備委員会
日時：10月16日（月）18:00～
会場：会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305・306会議室
- ・ 第33回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議
日時：11月30日（木）18:00～
会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室

以 上

明日へつなぐ事業検討委員会 会議記録

日時	令和5年8月22日(火) 20:05~20:50	出席者	小出委員長、吉井会長、吉村委員、 小山
場所	柿崎コミュニティプラザ 306~307会議室		
記録者	小山	欠席者	岩野委員、薄波委員、貝谷委員、 片桐宏樹委員、片桐充委員、白井副会長、 武田正教
標 題	第3回 明日へつなぐ事業検討委員会		
<p>1 協議事項</p> <p>(1) 令和7年度以降に向けた地域独自の予算事業について</p> <p>2 小出委員長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度以降に向けて多くのアイデアを挙げることから始めたい。 地域協議会だより第51号に「地域活性化の方向性」と「6つの構成要素」を見開き2ページで掲載する。そのゲラを用意したので、それを基に何ができるかをイメージして意見をいただきたい。 <p>3 協議結果</p> <p>■提案のあったアイデア</p> <p>(1) メダカの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本メダカの保全と育成。メダカを守ることは自然環境を守ること、水を守ることになり、子どもたちの環境学習にもつながる。 <p>(2) 鮭の遡上</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸山堰まで遡上しているが、堰の魚道の一段目が高くて鮭が登れない。修理できないだろうか。 以前には初田堰の下にはマスが泳いでいた。 <p>(3) 山並みパノラマ写真</p> <ul style="list-style-type: none"> 山岳会に、米山から妙高山につながる山並みのパノラマ写真を撮影してもらって、写真にすべての山の名を記載し、その写真を公共施設などに展示したい。 観光協会が作っている手ぬぐいに入れてもよいのではないか。 <p>(4) 古道の再現</p> <ul style="list-style-type: none"> 小萱から平沢に抜け、さらに下牧の米山登山道に出る古道があった。その古道を再現し、さらに水野、猿毛城、城山、黒岩、大出口、東横山につなげたい。 <p>(5) キャンプ、サウナ</p> <ul style="list-style-type: none"> 今、キャンプブームなのに、大出口キャンプ場が廃止されてしまったことが残念だ。 古道を歩き、大出口に出たらキャンプをして、テントサウナや大出口の水を使った滝行を行ったらどうか。 サウナは、体を冷やすための水がないとできないので、大出口にはサウナを行う環境が整っている。 			

- ・サウナは、なぜ東京でなく上越なのか。景色と自然との融合が良いからだ。

(6) 里山イノベーション研究会

- ・ブナ林を中心とする地域の里山資源に新たな価値を見だし、今までになかった活用方法を創造することを目的に、大島区を拠点に3年前から活動が続けている。
- ・浦川原区の建設事業所に事務局を置き、ブナの森でのトレッキングのほか、板山不動尊でのアウトドアサウナの体験会を行っている。参考にできると思う。

4 次回の委員会開催予定

- ・日 時：10月の地域協議会本会議終了後
- ・会 場：コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室
- ・議 題：令和7年度提案に向けた検討

以 上